

サービス・ニュース

ご存知ですか？ こんなサービス

1.日本全国どなたでも貸出券を作成できます

「貸出券発行申込書」をご記入後、氏名・生年月日・住所確認ができるものをご提示ください。この貸出券は千代田区内のどの図書館でもご利用できます。

2.館内のどこでも本の閲覧が可能で

当館の本は、1階のカフェや地下1階のレストランに持ち込んで読むことができます。館内で読むだけでしたら貸出手続きは不要です。貸出券をお持ちでない方もどうぞご利用ください。

3.無線LANが使用できます

無線LANに対応しているパソコンをお持ちであれば使用できます。設定が必要な機種もありますので、2階図書総合カウンターにマニュアルをご用意しています。

4.自動貸出機は自分で貸出手続きができます

カウンターに並ばなくてもすぐに貸出ができるので、ぜひお試しください。台の上に本を載せて貸出券を差し込み、簡単な操作だけで貸出が完了します。

5.保存書庫にある資料はカウンターへお申し出ください

本および新聞・雑誌等の発行後、時間が経過した資料は書庫に移動しています。他にもご興味のある本が見当たらない、検索したら保存書庫にあると表示されたなどの場合はお気軽にご相談ください。

データベース「ジャパンレッジ・プラス」をご利用いただけるiPadを館内貸出スタート！

『日本国語大辞典』など辞典類のほか、「週刊エコノミスト」や「会社四季報」なども読むことができます。お一人様、1日1回1時間まで、館内どのフロアでもご利用いただけます。ご利用希望の方は2階図書総合カウンターに貸出券をご提出ください。※iPadご利用の方には、ジャパンレッジに関するアンケートをお願いしています。



写真は、第1回の講座の様子。明治の新聞連載小説をテーマに、データベース「ヨミダス歴史館」の使い方を紹介しました。

次回のお知らせ
 次回のデータベース講座は1月25日(金)開催予定！様々な企業情報を検索できる「日経テレコン21」です。詳細は中面をご覧ください。



美しい高原の中、病と闘う恋人につき添う主人公が、残された時間を支え合いながら生きる堀辰雄の代表作。表題となった言葉はポール・ヴァレリーの詩の一節。

「わたしの一冊」
 当館スタッフがおすすめの本をご紹介します。
 トップバッターは館長です！
『風立ちぬ』堀辰雄著
 今月のおすすめする人 館長 若林尚夫
 簡潔で情景が目に見えるような、洗練されたきれいな文章表現です。一人の人間の一生を季節の流れの中で的確に表現していて、全体を貫く「風立ちぬ」の生き生きとした言葉が、現実の「生きていること」への強い意欲を表し、人生観の結晶した短編となっていると思います。人生後半になっていくつかの作品の読み直しをしています。三十年代半ばの作者本人の闘病生活の中において、自己抑制のきいた穏やかで他者への情感に満ちた人格に触れたとき、あらためて自身の人間性・品性などに思いを複雑にしています。

ZONE pick up!

3階 図書フロア<アート・文学・カルチャー>の本を集めたブルーゾーン

「ちよカル」=ちよだカルチャーガイド資料・情報展示！

「ちよカル」では千代田区内を地域ごとに区切って本を紹介しています。

今月のエリア【丸の内・日比谷・永田町・霞が関】

◆関連本紹介

『一丁倫敦と丸の内スタイル』

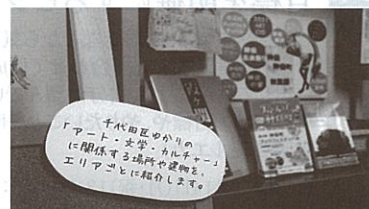
岡本哲志監修
 三菱地所株式会社,2009年

明治27年三菱一号館が竣工し日本最初の本格的オフィス街の礎が築かれました。丸の内の誕生から今日までの変遷を知ることができます。

『霞ヶ関100年』

建設大臣官房官庁営繕部監修
 公共建築協会,1995年

霞が関中央官庁地区の形成過程を明治初期から時期別に写真を添えて説明しています。



芸術と政治とが交差するエリア
 当館は、国会議事堂へと続く道の途中にあり、波乱に満ちた政治の舞台を長きに渡り間近に見てきました。芸術は政治や社会の動向と全く無関係ではありません。今回の「ちよカル」では、芸術と政治とが交差するエリアならではのカルチャーをご紹介します。

ブルーゾーンを楽しむセクション展示

『文学賞シリーズ-LiteraryAward』 part10.岸田國士戯曲賞

国内外の文学賞とその受賞作品を紹介するコーナー。今回は演劇界の芥川賞とも称される岸田國士戯曲賞を紹介。著者及び審査員の作品や演劇関連本を展示しています。

『和のこころ』茶の湯に関する本をご紹介します。

『文学講演会 作家が語る「日比谷×文学×図書館」』 登壇の作家3人の著書を展示中。

現在行っている展示

1周年記念展示『Condense NIPPON』

- 1F エレベータ前 “花と風景から見る明治・大正の面影”
- 2F パープル ガラスケース “訪日外国人の視点から見る「日本」”
- 3F アート情報支援コーナー “和と洋の新着本と小泉八雲ちりめん本”
- 3F エレベータ前 “ちりめん本 日本昔噺シリーズ”

2F オレンジゾーン

<毎日注目！>『UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ棚』日々飛び込んでくるニュースに応じて、随時アップデートしながら本を展示する「顔が変わる」書架です。
 ■セクション展示▶『データベース・ジャパンレッジ』『日比谷カレッジの学びを深める』

2F パープルゾーン

<NEW!>『火事と喧嘩は江戸の華』火事喧嘩伊勢屋稲荷に犬の糞。数多い江戸名物のトップとして恐れられた火事と戦い続けた歴史をご紹介します。
 ■セクション展示▶『江戸っ子と食』

3F グリーンゾーン

<オススメ!>『茸きのこ菌-日本におけるきのこのかわりあい』味よし、栄養ありの「きのこ」をなかなかいっばい読んでみませんか？(～12/14)
 ■セクション展示▶『世界のミステリー-紀行 古代文明(～12/16)、神社めぐり(12/18～)』



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

Condense NIPPON 図書フロア1周年企画

3階図書フロアブルーゾーン
 アート情報支援コーナーにて
 開催中～12月28日(金)まで 入場無料

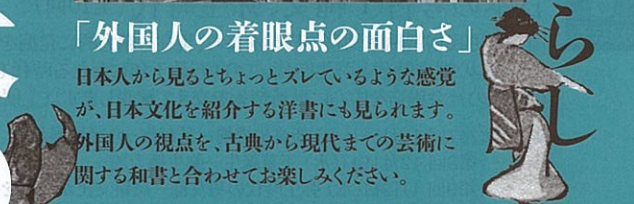


明治41(1908)年に旧都立日比谷図書館が開館。当時の日本は明治時代、和洋折衷の真つ盛り。多くの洋書を寄贈された図書館は「洋書の目比谷」と呼ばれました。開館一周年を記念し、新たに洋書を購入了ました。明治から現代まで「ニッポンを凝縮」したcondense コンデンス」をテーマに、芸術を中心とした和書とともに展示中です。洋書を手元に、ニッポンを身近に、日常のスパイスにとどうぞ。

【洋書に近づくニッポンに近づく】

日本の伝統と芸術
 和書と洋書から

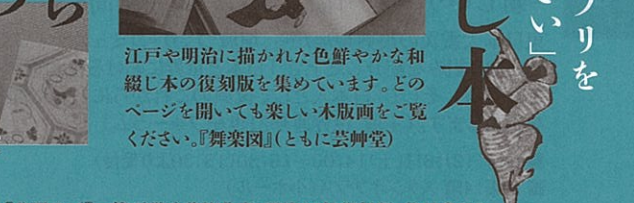
「外国人の着眼点の面白さ」
 日本人から見るとちょっとズレているような感覚が、日本文化を紹介する洋書にも見られます。外国人の視点を、古典から現代までの芸術に関する和書と合わせてお楽しみください。



「西洋に生まれ東洋に生きた八雲が贈る『日本独自の奇妙さ』」

小泉八雲 ちりめん本

日本独自のものといわれる妖怪はその土地の人々が歴史の中で築き上げた自然観、死生観、世界観の現れとされています。小泉八雲の日本名で知られるラファディオ・ハーンもその魅力にとり憑かれた一人でした。彼が編纂したユニークなちりめん本5冊を揃えています。



※カット:「盆踊り」(『一筆両譜』)葛飾北斎・明治45年複製版・芸神堂より

日本の作家

「あの有名作家の知られざる短編が英語・日本語で」
 外国人編集者がセレクトした日本人作家による短編集をヒックアップ。近代作家も、トキオの各所が舞台になったもの、女性作家の作品を集めたユニークなものなどを紹介原書との比較や、「細雪」が『Makioka Stories』になっているなど原作からは想像できない英タイトルの違いにも注目。

手のひらサイズのコレクション
 入り口を進むと、美しくも繊細、鮮やか、そして遊び心がつまった小さな本たちがお出迎え。世界に誇れる日本人の手先の器用さ、細々としたものを創れる能力が本にも現れています。

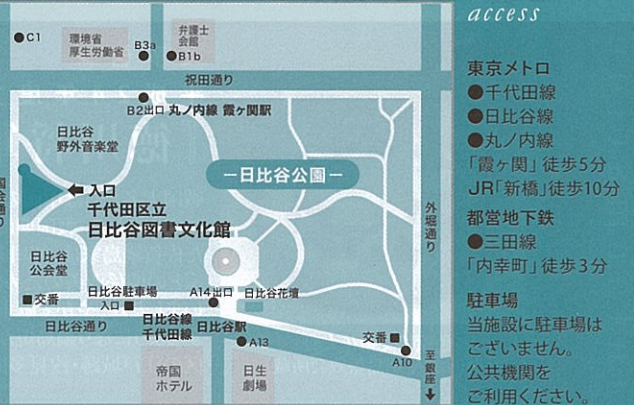


「小さな、でも華やかな和の世界がそこに」

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■ 土曜10時～19時、日祝10時～17時 ■ 休館日

2012年 12月							2013年 1月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
30	31												

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



12・1月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

12/4 (火) ほか **日本歴史文化講座(ヒスカル)**
日本の近代①明治「再考」(全10回)
 近代日本の形成過程を、近代史研究者5人がそれぞれの専門分野を中心にわかりやすく詳細に解説します。近代化とは何か、明治時代とはどんな時代だったのか、政治・社会を中心にお話しします。(主催: ㈱敬文舎)
 ■日時: 第9回 12月4日(火) 新聞と社会 第10回 12月18日(火) 都市の暴動 いずれも14:00~16:00(13:30より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■講師: 藤野 裕子(早稲田大学助教・立教大学講師)
 ■定員: 60名 ■参加費: 各回 2000円

12/5 (水) ほか **日本歴史文化講座(ヒスカル)**
日本の考古①縄文、弥生時代(全10回)
 国立歴史民俗博物館勤務の経験を持ち、現在も精力的に発掘を続ける講師が、日本の縄文時代と弥生時代、この1万数千年にわたる時代を、それぞれの時代の社会構造を中心に最新情報を交えて解説します。(主催: ㈱敬文舎)
 ■日時: 第7回 12月5日(水) 新弥生機構—私が作った歴博展示— 第8回 12月19日(水) 王墓誕生—弥生権力論— 第9回 1月9日(水) 弥生時代の男女像—農耕文化が土偶を変えた— 第10回 1月23日(水) イレズミから探る邪馬台国の位置 いずれも14:00~16:00(13:30より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■講師: 設楽 博巳(東京大学教授) ■定員: 60名 ■参加費: 各回 2000円

12/8 (土) **開館1周年記念文学講演会**
「作家が語る 日比谷×文学×図書館」
第3回 作家・阿刀田高「図書館で言葉を磨く」
 当館の開館1周年を記念した文学講演会シリーズの第3回は、国立国会図書館の司書を経て作家となり、今春、山梨県立図書館長に就任された阿刀田氏にご登壇いただきます。今、図書館で言葉は磨けるのか? 現代の図書館の役割とは? 図書館で知識を深め、自分ならではの言葉を見つけることについて語っていただきます。
 ■日時: 12月8日(土) 14:00~15:30(13:30より受付)
 ■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) ■講師: 阿刀田 高(作家)
 ■定員: 200名 ■参加費: 1000円(千代田区民500円) 千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/8 (土) **東北復興は日本社会を変えるか**
~新しいリーダー像と、新しい公共空間~
 東日本大震災の復興現場から、地域づくり・コミュニティづくりなどの新しい取り組みを紹介した上で、「日本と世界における東北復興の意味合いとは何か」、そして「日本人として復興のこれからのいかに関わりえるか」を議論します。(主催: 世界連邦21世紀フォーラム)
 ■日時: 12月8日(土) 14:00~16:30(13:30より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■講師: 藤沢 烈(一般社団法人RCF復興支援チーム 代表理事)
 ■定員: 60名 ■参加費: 3000円

< 予告 >
平成24年度文化財特別展 『徳川将軍家の器』
 戦国大名たちは中国の器を饗宴や室内の装飾に用いました。戦国期には豊臣方の大名であった佐賀鍋島家は、徳川家が天下をとると、将軍家との関係改善のために中国磁器を献上していましたが、やがて献上品を藩直営の窯で製作するようになり鍋島焼が生まれました。千代田区の江戸城跡・汐見多間櫓台石垣地点では、明

教えて! 図書館用語 【相互貸借(ソウゴタイシャク)】自治体や種類の異なる図書館の間で、資料の貸し借りをを行うこと。英語ではILL(=InterLibrary Loan)と表記します。欲しい資料が自分の利用している図書館・自治体に所蔵されていない場合でも、他の図書館から取り寄せて借りることができる可能性があるため、図書カウンターで相談してみてください。

▶参加申込: 電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合、ご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

12/13 (木) ほか **ドキュメンタリー映画「40万冊の図書」上映会**
 1944年から45年にかけて、日比谷図書館は戦禍を逃れるため40万冊の蔵書を疎開させました。図書館員や都立一中の生徒たちが奥多摩や現在の埼玉県志木市に何度も運び、文化を守ったのです。この献身的な取り組みを次世代に伝えるドキュメンタリー映画の上映会を行います。(主催: シネマボックス)
 ■日時: 12月13日(木)、14日(金) ①10:30~12:05、②13:00~14:35、③15:00~16:35 12月15日(土) 10:20~12:00
 ■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員: 200名 ■参加費: 1000円



12/14 (金) **日比谷次世代寄席**
春風亭びっかり ~落語の歴史と落語家ライフ~
 今年のNHK新人演芸大賞落語部門の決勝に進出した実力とチャーミングさを兼ね備えた若手落語家、春風亭びっかりさんをお迎えして、落語の歴史や落語家の生活についてのお話と、元気いっぱいの落語を披露します。
 ■日時: 12月14日(金) 19:00~20:30(18:30より受付)
 ■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員: 150名
 ■参加費: 1500円(千代田区民1000円) 千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2013年 1/11 (金) **千代田区民講座**
市立船橋高校サッカー部におけるチームマネジメント
~目標達成に向けての組織づくりと人材育成について~
 サッカーを通じた人間教育を推進し、チームを全国高校総体で優勝7回、全国高校サッカー選手権で優勝3回に導いた実績を持つ講師に、目標達成に向けての組織づくりと人材育成についてお話いただきます。
 ■日時: 1月11日(金) 19:00~20:30(18:30より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■講師: 石渡 靖之(船橋市立船橋高等学校 教頭)
 ■定員: 60名 ■参加費: 無料

「市川團十郎トークショー」開催報告
10月30日(火) 会場: 地下1階コンベンションホール(大ホール)
 特別展「市川團十郎 荒事の世界」の関連イベント、十二代目市川團十郎丈ご本人をお招きしてのトークショーは、事前に多数のご応募をいただき、抽選で当選された方にご参加いただきました。当日、團十郎丈はスーツ姿で登壇され、聞き手の元NHKアナウンサーで古典芸能解説者の葛西聖司氏との軽妙なトークで会場を沸かせました。市川宗家に伝わる歌舞伎十八番の逸話や、上演機会の少ない作品を復活させる取り組みの苦労話を披露いただいたほか、幼稚園の同級生との共著書などお薦めの本をご紹介いただくなど、幅広い話題をお聞かせ下さいました。

教えて! 図書館用語 【相互貸借(ソウゴタイシャク)】自治体や種類の異なる図書館の間で、資料の貸し借りをを行うこと。英語ではILL(=InterLibrary Loan)と表記します。欲しい資料が自分の利用している図書館・自治体に所蔵されていない場合でも、他の図書館から取り寄せて借りることができる可能性があるため、図書カウンターで相談してみてください。

1/12 (土) **カンボジアの子ども達の笑顔のために**
~カンブリア宮殿、NHKで話題の社会起業家が語る~
 “子どもが売られない世界をつくる”活動をしている「かものはしプロジェクト」から講師をお招きし、東南アジアの児童買春の実態、カンボジアを中心にこの10年間展開してきた活動についてご紹介します。(主催: 世界連邦21世紀フォーラム)
 ■日時: 1月12日(土) 14:00~16:30(13:30より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■講師: 村田 早耶香(NPO法人かものはしプロジェクト 共同代表)
 ■定員: 60名 ■参加費: 3000円

1/14 (月・祝) **2013年は主体的に生きる!**
目標を明確にするビジョンマップセミナー
 ビジョンマップは、雑誌などから気になる写真・画像やフレーズを切り抜き、一枚の画用紙に貼り合わせて作成します。漠然としたイメージを一旦外に出してみることで、自分が望んでいたものが具体的にわかります。2013年は自分の目標や、やりたいことを明確にしてスタートしましょう!(主催: 有限会社ルエカ)
 ■日時: 1月14日(月・祝) 13:30~16:30(13:15より受付)
 ■会場: 4階 スタジオプラス
 ■講師: 原村和子(国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ)
 ■定員: 40名
 ■参加費: 2000円

1/18 (金) ほか **「語り芝居」語り女たち**
 北村薫著『語り女たち』(新潮文庫刊)より8話を舞台公演します。不思議な体験を語る「語り女」の女と「聞き手」の男によって繰り広げられる神秘的で美しい癒しの世界へ誘います。※19日は北村 薫先生のご挨拶とサイン会を予定しております。
 ■日時: 1月18日(金) ①14:00~16:00、②19:00~21:00 19日(土) 13:30~16:00(作家ご挨拶含) 20日(日) 13:00~15:00 ※各回30分前より受付
 ■会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■出演: 森本 緑、萩原 萌、小西 めぐみ、平島 茜、千葉 おもちゃ、かのこ、他
 ■企画・制作: モリモトユカリ・プロデュース
 ■脚色・構成: 森本緑・井上勝司
 ■演出: 井上勝司
 ■定員: 200名 ■参加費: 3300円(自由席)

1/25 (金) **iPadでも学ぶデータベース「日経テレコン21」検索セミナー**
ビジネスにも就活にも役立つ企業情報検索
 iPadでも学ぶデータベース講座の第4回。日経各紙の記事検索から、企業検索、人事検索、データ・統計検索など、ビジネスパーソンや就職活動中の方に大変役立つ情報が入手できるデータベース「日経テレコン21」を使いこなせるようになるための講座。
 ■日時: 1月25日(金) 18:30~20:00(18:00より受付)
 ■会場: 3階 図書フロア スタッフ作業室
 ■講師: 片寄 賢史(日経メディアマーケティング(株))
 ■定員: 10名
 ■参加費: 無料

「市川團十郎トークショー」開催報告
10月30日(火) 会場: 地下1階コンベンションホール(大ホール)
 特別展「市川團十郎 荒事の世界」の関連イベント、十二代目市川團十郎丈ご本人をお招きしてのトークショーは、事前に多数のご応募をいただき、抽選で当選された方にご参加いただきました。当日、團十郎丈はスーツ姿で登壇され、聞き手の元NHKアナウンサーで古典芸能解説者の葛西聖司氏との軽妙なトークで会場を沸かせました。市川宗家に伝わる歌舞伎十八番の逸話や、上演機会の少ない作品を復活させる取り組みの苦労話を披露いただいたほか、幼稚園の同級生との共著書などお薦めの本をご紹介いただくなど、幅広い話題をお聞かせ下さいました。

教えて! 図書館用語 【相互貸借(ソウゴタイシャク)】自治体や種類の異なる図書館の間で、資料の貸し借りをを行うこと。英語ではILL(=InterLibrary Loan)と表記します。欲しい資料が自分の利用している図書館・自治体に所蔵されていない場合でも、他の図書館から取り寄せて借りることができる可能性があるため、図書カウンターで相談してみてください。

洗練の銀座
 日米開戦5年前、アメリカの経営誌『Fortune』は日本特集号を企画し、日本が急速に台頭してきた原因をつきとめるため、日本のあらゆる側面を徹底的に調査しました。同誌には日本人写真家の作品が多数掲載され、この「他にはない、おしゃれな街」として紹介された銀座の写真は、名取洋之助から得たものです。
 『Fortune』1936.SEP (Time Inc. 1936)

< 企画展示・展示解説セミナーのお知らせ >
企画展示 「世界に伝えられた近代日本—開国から昭和戦前期まで—」
 内田嘉吉文庫の蔵書を中心に、開国から昭和戦前期にかけて国内外で発行された、日本を世界に伝えた様々な本を紹介いたします。(開催中~12月28日(金))
展示解説セミナー「世界に伝えられた近代日本—開国から昭和戦前期まで—」
 特別研究室ナビゲーターが展示中の本について解説します。
 ■日時: 12月8日(土) 大正拾頭篇 新渡戸稲造 日本を世界に示した国際人 12月15日(土) 昭和戦前篇 『FORTUNE』戦時迫る日本への関心 いずれの回も14:00~15:00
 ■定員: 10名(先着順・要事前予約) ■参加費: 500円

【古文書塾 たらこや】
古文書を始めよう! ~江戸歌舞伎の世界~
 古文書塾「たらこや」は本邦初の古文書専門塾。初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めていきます。今回は、2013年1月開講講座の中から、江戸歌舞伎の人気の秘密に迫る3つの体験講座をご用意いたしました。くずし字を学びながら、歌舞伎の世界を楽しんでみませんか。(主催: 小学館集英社プロダクション)
 ●12/8(土) 14:00~15:30 「絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎」 講師: 埋忠 美沙
 ●12/14(金) 13:30~15:00 「歌舞伎の舞台裏に迫る」 講師: 西田 知己
 ●12/19(水) 19:00~20:30 「浮世絵を讀む」 講師: 藤澤 茜
 ■会場: 4階 セミナールーム B
 ■定員: 20名 ■参加費: 各回1000円
 お申し込み電話番号: 090-8741-0057(日・祝日除く10:00~17:30)

■ コンシェルジュより
日比谷図書文化館 × 日比谷花壇
WISH TREE CHRISTMAS
 今年のクリスマスは日比谷花壇とコラボレーションしたクリスマスツリーが皆さまをお迎えます。期間中、メッセージタグに2013年に向けた“想い”を書いて館内のクリスマスツリーに飾って頂くと、タグ30枚に対して1株の植樹が東北地区で行われます。また、集められたタグは日比谷公園内にある日比谷花壇のウィンドウにアートツリーとして飾られます。(週1回、回収されます)今年の日比谷で新しい年への想いを込めたクリスマスにしませんか。
 ■期間: 11月29日(木)~12月25日(火)
 ■場所: 1階コンシェルジュカウンター横
 ■参加無料

SHOP & CAFE **1階ショップ&カフェ、地下1階ダイニングからのお知らせ**
 地下1階ダイニングと1階ショップ&カフェが2013年1月にリニューアルオープンします。ダイニングは落ち着いた雰囲気はそのままに、メニューを刷新してよりリーズナブルに。ショップ&カフェは装いもあらたに、利用席も増やしてお客様をお迎えます。右記の通り、それぞれ工事によるお休み期間をいただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、新しくなるダイニングとショップ&カフェにどうぞご期待ください。
 <お休み(工事)期間>
 ダイニング: 2012年12月26日(水)~2013年1月6日(日)、ショップ&カフェ: 2013年1月7日(月)~1月21日(月)
 <新規オープン日>
 ダイニング: 2013年1月7日(月) ショップ&カフェ: 2013年1月22日(火)

教えて! 図書館用語 【相互貸借(ソウゴタイシャク)】自治体や種類の異なる図書館の間で、資料の貸し借りをを行うこと。英語ではILL(=InterLibrary Loan)と表記します。欲しい資料が自分の利用している図書館・自治体に所蔵されていない場合でも、他の図書館から取り寄せて借りることができる可能性があるため、図書カウンターで相談してみてください。



「色絵椿文輪花大皿」(財団法人 鍋島報効会所蔵)